



あゆみ

令和8年度5月号
令和8年7月2日発行

八潮市立八潮中学校
八潮市中央1-1-2
Tel:048-996-4219
生徒数 539人

がまんが大切

校長 市川 真志

いよいよ7月になりました。今年は梅雨らしい天気が多く、比較的過ごしやすい日が続いていますが、天気予報によると、梅雨明けからは例年以上の酷暑が予測されています。これから始まる本格的な暑さに備え、体調管理には十分に注意してください。

さて、夏休みまであとわずかとなりました。今年から夏休みが8月31日までとなり、45日間の長期休業となります。これだけ長い休みです。計画的に過ごさなければ、あっという間に時間が過ぎてしまいます。ぜひ、これまで以上にしっかりと計画を立て、有意義な夏休みにしてください。

1学期の締めくくりを迎えるこの時期、教室を回って皆さんの様子を見てみると、一生懸命に課題に取り組む姿が多く見られます。一方で、夏の疲れからか集中を欠いてしまったり、難しくなる学習内容に不安を覚えたりしている人もいます。少し心配しています。そんな皆さんに、レオナルド・ダ・ヴィンチが書き残した、ある童話を紹介します。「普通の石」と「火打ち石」のお話です。



あるとき、普通の石は火打ち石に頭をたたかれ、カンカンに怒ってしまいました。けれど、火打ち石はにっこり笑ってこう言いました。「がまん、がまん。これががまんできたら、私はあなたの体から、素晴らしいものを引き出してあげますよ」普通の石はそれを聞いて機嫌を直し、たたかれるのをじっとがまんしました。すると、石の体から、きれいな火がパッと生まれたのです。火は、周りを明るく照らし、人を暖め、人類の発展に欠かせないものとなりました。

ダ・ヴィンチのこのお話から、皆さんは何を考えますか？私はこう考えます。火打ち石は、皆さんにとっての「苦手なこと」や「勉強の壁」です。「嫌だな、逃げたいな」と思うことでも、じっとこらえて粘り強く取り組むことで、自分の中に眠っている「新しい可能性（火）」をパッと輝かせることができる、という教えではないでしょうか。

勉強や部活動、人間関係など、つらいことがあると、周りの人たちがみんな幸せそうに見えて、うらやましくなることもあるでしょう。しかし、悩みや課題のない人はいません。大切なのは、そこで投げ出さないことです。大変なことにも焦らず、じっくりと向き合い続ける経験こそが、皆さんを大きく成長させます。この夏休み、受験勉強や多くの宿題に「大変だな」と感じる瞬間がきっとあります。そんなときは、ぜひこの45日間を、自分の「素晴らしい力」を引き出すチャンスだと捉えてみてください。つらいことを悠々と乗り越え、ひと回り成長した皆さんと、9月に笑顔で会えることを楽しみにしています。